指定管理者制度導入施設評価票

評価対象年度	令和6年度		
施設名	秋田県立総合射撃場(狩猟技術訓練施設)	設置年	令和 2 年
所在地	由利本荘市岩城道川字新田沢43		
指定管理者	一般財団法人 秋田県総合公社		
県所管課	自然保護課	鳥獣保護管理	チーム

1 施設の概要

設置目的	狩猟を行おうとする者の銃器を取り扱う技術の向上を図り、もって適正な野生鳥獣の保護及び管理に資することを目的とする。					
県の施策上の施設の位置付け	<p>新秋田元気創造プランや各分野の個別計画等における施設の位置付け・目標 野生鳥獣の適正な保護管理と被害対策の推進</p> <p>新秋田元気創造プランや各分野の個別計画等における目標を達成するための 取組として施設に求められているもの</p> <p>野生鳥獣の分布の拡大や生息数の増加により、人的被害や農林水産物被害が生じており、県民の安全確保と農作物の被害防止を図る観点から、有害鳥獣の捕獲対策が喫緊の課題である。有害鳥獣捕獲の担い手となる狩猟者を確保・育成し、銃器を取り扱う技術の向上を図る。</p>					
施設の面積	245,670.74㎡					
主な設置施設	トラップ射撃場、スキート射撃場					
指定管理業務の内容	料金制	無（指定管理料制）				
	料金設定					
	サウンディング実施対象施設※					
	指定期間	R3.4.1		～	R8.3.31	
	営業期間・時間	3/1～11/30の毎週水曜9:00～12:00、土日祝9:00～15:00(年末年始を除く)				
		(1) 射撃場に係る使用の許可、使用の許可の取り消し並びに使用の制限及び停止に関する業務 (2) 射撃場の施設及び施設の維持管理に関する業務 (3) 射撃場の利用を通じた狩猟技術の向上に関する業務				
自主事業の内容	(1) 狩猟の魅力まるわかりフォーラム					
直近3年の年間利用者数	R4	730 人	R5	718 人	R6	1,140 人
直近3年の年間利用収入	R4	2,280 千円	R5	2,494 千円	R6	3,962 千円
直近5年の収支決算(単位:千円)						
収入計	R2	15,346	R3	19,279	R4	19,197
利用料金収入		0		0		0
指定管理料		15,070		18,926		18,926
その他収入		276		353		271
支出計	R2	16,915	R3	18,391	R4	18,584
人件費		10,105		11,900		11,073
光熱水費		599		732		962
修繕費		679		603		119
外部委託費		550		581		633
その他経費		4,982		4,575		5,797
差引		▲ 1,569		888		613
					R5	1,473
					R6	1,343

※単年度維持管理・運営費が1億円以上の公募施設について、民間事業者の意見を参考に運営手法や公募要件を検討するため、指定期間終了の3年前にサウンディング(官民対話)を実施する。

2 観点ごとの評価

<観点 I> 施設の設置目的（施設の目指す姿）の達成に関する取組

【ポイント】

施設の設置目的（施設の目指す姿）を達成するための取組がなされ、その効果があったか。

○指定期間における運営方針・施設の利用目標

(R6年度以降に指定管理を開始・更新する施設から基本協定書に定めることとなっているため、それまでは記載不要)

○目標の設定（毎年度、県と指定管理者が協議の上、業務計画書に定める目標）

令和6年度の目標	入場者数 800人
----------	-----------

○指定管理者による実績報告

令和6年度の実績	実績	1,140	達成率	142.5%	
	具体的な取組とその効果	開場日終了後の鉛弾回収作業を確実に実施するとともに、随時場内の清掃、整理整頓等、利用者の訓練環境向上に留意したことから、利用状況は目標を上回ることとなった。			
直近3年の実績	年度	R3年度	R4年度	R5年度	
	目標	800	800	800	
	実績	519	730	718	
	達成率	64.9%	91.3%	89.8%	
令和7年度の目標（設定根拠）	目標	入場者数 1,000人			
	設定根拠	令和4年度はネットの破損によりトランプ射撃場が約二ヶ月、令和5年度はアスファルト工事のため全体が約二ヶ月閉場となるなど特殊事情があったが、令和6年度は途中で閉場することなく運営できた結果、入場者が1,000人を超えたことから、今後は年間入場者1,000人を目標とする。			

※指標が複数ある場合は欄を適宜追加すること。

<観点 I>の評価

	評価者	評価	コメント
評価欄	指定管理者	A	シーズン始めにウィンチの故障があり、当年度も1年を通しての利用者数のデータは取れなかったが、毎年利用者から高い評価を受けており、近年は利用者が定着してきていることから、今後も目標達成が見込まれる。
	県（所管課）	A	当該施設は射撃練習や安全狩猟射撃大会等の利用が中心となる中で、目標を大きく上回る入場者の確保に努めている。今後もサービスの向上により、入場者数を維持することが期待される。

【評価基準】次の基準により評価。基準によらず各区分に相当すると認められる場合は、コメント欄に理由を付すこと。

また、施設の設置目的（施設の目指す姿）を達成するための、指定期間における運営方針・施設の利用目標について、指定期間開始年度から評価対象年度までの達成状況をコメント欄に記載すること。

A: 目標達成（数値目標の場合は100%以上）

B: A及びC以外

C: 目標達成に向けて改善が必要（数値目標の場合は80%未満）

<観点Ⅱ> 施設の有効性（利用者の満足度）の向上に関する取組

【ポイント】

サービスの質を維持・向上するための具体的な取組がなされ、その効果があったか。

○指定管理者による実績報告

利用者満足度 令和6年度 の実績	実績	97.5%		
	具体的な 取組と その効果	高齢者の利用者が多いことからアンケートに記入してもらえないことが多いものの、スタッフと利用者の直接的なやりとりの中で、細かな意見や要望を聞き出すように努めている。		
利用者満足度 の状況 (直近3年)	R3年度	R4年度	R5年度	
	96.6%	97.1%	95.2%	

<観点Ⅱ>の評価

評価欄	評価者	評価	コメント
		指定管理者	A
	県 (所管課)	A	定期的な接遇研修のほか、施設周辺の環境整備を徹底することにより、入場者が快適に利用できる環境づくりができています。また猟友会の射撃大会等の開催に協力するなど、施設の設置目的に沿って利用者の拡大、定着に努めている。

【評価基準】次の基準により評価を行う。基準によらず各区分に相当すると認められる場合は、コメント欄に理由を付すこと。

A:満足度80%以上 B:A及びC以外 C:満足度60%未満

<観点Ⅲ> 効率性の向上等に関する取組

(1)経費の低減

【ポイント】

施設の管理運営（指定管理業務）に関し、経費を効率的に低減するための十分な取組がなされ、その効果があったか。

○指定管理者による実績報告

令和6年度 の実績	経費の 低減実績	支出合計は前年度に対して2%の減となった。
	具体的な 取組と その効果	令和6年度は利用者数が大幅に増えたことにより各種の経費が増加したが、一部職員の雇用形態をフルタイムからパートタイムに切り替えたことにより、人件費が抑制され、経費の低減につながった。

※費用の総額では効果が計れない場合は、例えば利用者1人当たりの単価を算出する方法等も考えられる。

(2)収入の増加 ※指定管理料制施設を除く

【ポイント】

収入を増加するための具体的な取組がなされ、その効果があったか。

○指定管理者による実績報告

令和6年度 の実績	収入の 増加実績	
	具体的な 取組と その効果	

<観点Ⅲ>の評価

	評価者	評価	コメント
評価欄	指定管理者	B	電気料金等の価格上昇により経費の増大圧力がかかる中で、徹底した節減に努め、平年並みを維持することができた。
	県(所管課)	B	各種料金が引き上げられる中でも、職員の健康管理に配慮し、必要な措置を講じている中で、様々な工夫を凝らして光熱水費の節減に努めている。

【評価基準】 次の基準により評価を行う。基準によらず各区分に相当すると認められる場合は、コメント欄に理由を付すこと。

A: (1)経費の低減、(2)収入の増加とも前年比で5%以上改善

B: A、C以外

C: (1)経費の低減、(2)収入の増加とも前年比で5%以上悪化

<観点Ⅳ> 公の施設にふさわしい適正な管理運営に関する取組

【ポイント】

施設の管理運営（指定管理業務）の適切な実施に向けた具体的な取組がなされ、その効果があったか

○指定管理者による実績報告

令和6年度 の実績	<p>①サービス向上の取り組みについて 「お客様目線に立つこと」をサービスの基本とし、清潔で居心地が良く利便性に優れた施設環境の提供を目指して取り組んだ。 また、利用者から寄せられたご意見を十分に検討し、職員の意見も取り入れながら施設運営の改善に努め、よりお客様目線に近づく取り組みも行った。</p> <p>②地域、関係機関、ボランティア等との連携の取り組みについて 利用促進や適切な維持管理のため地域住民の理解と協力が得られるよう、地域住民代表（総合射撃場周辺の環境を守る会）と県及び県立総合射撃場の三者による意見交換会を定期的に行った。 この取り組みによりいただいたご意見に基づき、管理運営状況を県及び由利本荘市（岩城支所）に対し、随時報告する体制を継続している。 また狩猟技術訓練施設としては、県や各地区猟友会による射撃練習会や競技会を誘致し、また県主催の狩猟の魅力まるわかりフォーラムへの協力を通じて猟友会との交流を深めるよう努めた。</p> <p>③職員の資質向上の取り組みについて 会社の「職員研修実施要領」に基づいて作成した研修計画により、役職段階別での指定研修（顧客対応研修、コンプライアンス研修など）の受講や、業務に必要な技能取得の講習会への参加により、資質向上に努めた。</p> <p>④安全管理及び緊急時対応の方策について 施設内巡回点検を実施し、「作業日報」等を通じ職員間で情報の共有を図っている。 不良箇所の発見時には、速やかに修繕または危険防止措置を実施。 特に日常業務に潜む危険の察知については、職員の打ち合わせ等で危険箇所の共有を行い、事故予防の意識向上に努めた。</p>
--------------	--

<観点Ⅳ>の評価

	評価者	評価	コメント
評価欄	指定管理者	A	職員のレベルアップを目的とした研修の実施、利用者への的確な情報提供、冬期間の落雪、凍結危険個所の注意喚起や通路・駐車場の除雪の徹底対応、利用者アンケートの実施など、利用者の目線に立った施設の管理運営に努めたことにより、利用者満足度も前年同水準を保ったほか、広く県民に開かれた公の施設であることを踏まえ、県立総合射撃場を利用される方々が公平・平等に利用していただけるよう管理運営を行った。
	県(所管課)	A	良好なサービスを提供するだけでなく、地域住民の理解と協力が得られるよう配慮している。施設の安全管理及び緊急時対応については、臨機応変に即時対応するなど、安全安心な運営をするため取り組んでいる。

【評価基準】 A: 順調(改善点なし)、B: 概ね順調(重大な問題点なし)、C: 改善が必要(重大な問題点あり)

県(所管課)の評価においては、モニタリング結果を踏まえて評価を行う。

【県の施策達成に向けた県所管課の施設運営に対する考え方】

※全施設記載

○県の施策の達成状況(施設を運営することで、県の施策がどの程度達成されたか等)

狩猟の適正管理及び有害鳥獣を安全かつ効率的に捕獲するために、射撃技術の向上を図る重要な施設である。射撃技術の向上についての達成状況を数値化等することは難しいことから、有害鳥獣捕獲の担い手である狩猟者の増加につながる入場者数の増減を評価の指標としている。利用者数は年々増加傾向にあり、これが継続していくよう、取り組むことが重要である。

○施設運営の課題

- ・耐用年数を迎える設備機器等については、今後も計画的な修繕・更新を実施する必要がある。
- ・鉛散弾飛散防止ネットは経年劣化や損傷による交換が必要となってきたため、計画的な張替が必要である。
- ・場内で使用される鉛散弾により、周辺地域に環境保全上の問題を生じさせないよう、地元住民と交わした管理運営等に関する覚書に基づき管理する必要がある。

○今後の方向性(県の施策の達成状況や課題を踏まえて、今後所管課としてどのように対応していくか等)

射撃場周辺地域の環境への配慮を通じ、地域住民の安全安心な生活が阻害されることのない施設運営を心がけることを念頭にしながら、より多くの年齢層の方に利用してもらえる施設となるよう、指定管理者と連携した施設情報の周知など、各種の取組を実施していくこととしている。